

1. 事業の目的

「住み慣れた地域で安心して暮らし続けたい」多くの人々が持つ願いである。2000年に介護保険が導入され、2006年から地域密着型サービスが整備されているが施設入所指向や在宅介護の不安は、形式的な介護サービスだけでは払しょくできない。地域包括ケア研究会で報告されている「おおむね30分以内（日常生活圏域）に生活上の安全・安心・健康を確保するための多様なサービスを24時間365日通じて利用しながら、病院等に依存せずに住み慣れた地域での生活を継続することが可能になっている」を実現するためには、具体的なサービス提供はもちろんのこと、地域包括支援センターの相談機能を活かすために、24時間365日「地域の駆け込み寺」としての即時的な直接支援機能を有することが「地域の安心」をつくることにつながる。

この事業では、霧島市内の介護保険事業所に「霧島市地域包括ケア・ライフサポートワーカー（LSW）」を配置し、24時間365日の地域での生活支援の機能を活用し、総合相談機能や地域の関係づくり、集まり場づくり、虐待への緊急対応など生活を継続するうえでの「安心」を支援するための拠点となりその地域に密着したセーフティネットを構築し、かつ、個々の介護職員としての資質の向上を図ることを目的とする。

2. 研修の名称 「霧島市地域包括ケア・ライフサポートワーカー養成研修」

3. 実施場所：研修期間

実施場所：霧島市国分公民館大会議室 他

〒899-4394 霧島市国分中央三丁目45-1

電話 0995-64-0920

その他、会場の都合により変更もあります。

実施期間：平成28年8月～2016年12月

4. 受講対象者

次の（1）～（4）すべてに該当する者とする。

- （1）霧島市内に所在する介護保険施設等に従事する介護職員等であって、原則として身体介護・認知症介護に関する基本的知識・技術を習得し、2年以上従事している者
- （2）認知症介護実践者研修を修了している者、または、介護支援専門員・介護福祉士・社会福祉士・精神保健福祉士・看護師・准看護師・作業療法士・理学療法士・言語聴覚士のいずれかの資格を有している者
- （3）法人代表者の推薦する者
- （4）全カリキュラムを受講できる者

5. カリキュラム（別紙）

6. 募集人員 30人（申込者多数の場合、受講できない場合があります）

7. 受講料

霧島市内事業所 20,000円

8. 使用する資料

「霧島市地域包括ケア・ライフサポートワーカー養成研修用講師資料」等を配布

9. 養成後の地域包括ケア・ライフサポートワーカーの役割

研修修了時に、ライフサポートワーカー養成研修の修了証及び霧島市地域密着型サービス事業者連合会認定の「ライフサポートワーカー（LSW）認定証」を授与し、認定者は以下の活動に取り組む。

- (1) 身近な地域の介護・生活相談援助
- (2) 行政・地域包括支援センター・各関係機関との連携
- (3) 認定者の所属する事業には霧島市と連合会の連携のもと「介護まちかど相談所」の看板を掲げる。
- (4) 認定者は圏域別地域包括ケア会議のアドバイザーとして参加する
- (5) 地域の関係づくり、集まり場づくり
- (6) 認知症になっても安心して暮らし続けられる地域づくり
- (7) 『私のアルバム』の普及・啓発
- (8) その他、ライフサポートワーカーとして必要なこと

※今年度、第5期をもって、ライフサポートワーカー養成研修は最終期となります。

10. 募集案内の方法

霧島市内介護保険事業所に郵送

11. 申込方法等

申込書：別紙「霧島市地域包括ケア・ライフサポートワーカー養成研修受講申込書」により申込む（直接又は郵送）

申込先：霧島市地域密着型サービス事業者連合会事務局

募集締切：平成28年7月27日（水）午前中

受講料：締切日までに次の口座まで振り込む（振込手数料は、各事業所負担）

金融機関名	宮崎銀行 国分支店 【普通】 17961
口座名義人	きりしましちいきみつちやくがたさーびすじぎょうしゃれんごうかい だいひょう くりわなおふみ 霧島市地域密着型サービス事業者連合会 代表 黒岩尚文

12. 実施主体

霧島市および霧島市地域密着型サービス事業者連合会

【事務局】霧島市地域密着型サービス事業者連合会

地域サポートセンターよいどこい 内

〒899-4346

鹿児島県霧島市国分府中町17番8号

Tel0995-48-8877 fax0995-48-8880

E-mail yoidokoi@castle.ocn.ne.jp

平成28年度 霧島市地域包括ケア・ライフサポートワーカー養成研修 日程

回	時間	講義テーマ ・ 講師ねらい	開催場所
第1回 8/5 【金】	10:00～ 10:40	地域包括ケアシステムにおける霧島市の動向と方針 『すこやか支え合いプラン』について 霧島市保健福祉部 長寿・障害福祉課 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ▶霧島市の高齢者の状況や福祉施策を知る ▶霧島市行政のまちづくりビジョンを理解し、自分達の役割や今後、実践していくべきことを考えることができる </div>	隼人農村 改善センター 多目的 ホール
	10:40～ 12:00	霧島市地域包括ケア・ライフサポートワーカーに求められるもの 霧島市地域包括ケア・ライフサポートワーカー 【活動報告】 小規模多機能ホームよいやんせ 小川 卓也 杉安病院 地域医療連携室 相談員 中島 藍子 【進行】 霧島市地域包括ケア・ライフサポートワーカー研修運営委員（黒岩） <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ▶ライフサポートワーカーが今までどのような目的で、どのような活動を行っているのか知ることができる ▶研修の目的を理解し、終了した時の自分の姿をイメージできる。 ▶受講生として責任を自覚し、仲間と共に最後まで実りある研修にするには自分はどうあるべきか考えることができる </div>	
	13:00～ 13:40	講演 『霧島市が目指すべき介護予防・日常生活支援総合事業』 霧島市地域包括支援センター 国分支所 主任介護支援専門員 牛牧 剛 氏 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ▶平成29年度から開始される介護予防・日常生活支援総合事業を理解する。 ▶霧島市の強みを活かし、これから目指すべき地域や高齢者の暮らしを考えることができる。 </div>	

	<p>13:40～ 16:30</p>	<p>シンポジウム 『誰もが生き活きと暮らし続けられる きりしま』 【シンポジスト】 鹿児島県保健福祉部介護保険課 課長 有村 智明 氏 霧島市保健福祉部長寿・障害福祉課 課長 西田 正志 氏 霧島市すこやか保健センター 所長 早瀬 秀子 氏 霧島市地域密着型サービス事業者連合会 副代表 竹下 智行 【オブザーバー】 鹿児島県大隈地域振興局保健福祉環境部 健康企画課健康増進係 技術補佐兼健康増進係長 宮園 君子 氏 【進行】 霧島市地域密着型サービス事業者連合会 代表 黒岩 尚文 ▶これまでの実践事例を通して、誰もが生き活きと暮らし続けられる我が町きりしまを考えることができる ▶霧島市ライフサポートワーカーとして、これから何が求められ、具体的にどのような実践・行動が求められるのかを自ら考えることができる</p>	
	<p>18:30～</p>	<p>懇親会</p> <p>▶仲間と共に交流の輪を広げ、霧島市のライフサポートワーカーとしての協調性やつながりを深めていく</p>	
<p>第 2 回 8/10 【水】</p>	<p>10:00～ 16:30</p>	<p>『他職種による見える事例検討 ～本人の強みを活かしたアクションプラン～』</p> <p>メディコラボ研究所 代表 伊東市民病院地域連携 プロジェクトマネジャー 医師 八森 淳 氏 エイチ・ツー・オー総合研究所 地域連携推進室 チーフインストラクター 社会福祉士 大友 路子 氏</p> <p>▶本人の強み・課題を見える化し、チームで支えることができるようになる ▶会議を通して、仲間の意見を引き出し、力が発揮できるチームを形成する</p>	<p>国分総合福祉 センター 大会議室</p>

第3回 8/19 【金】	10:00～ 12:00	<p>パーソンセンタードケア ～尊厳を支えるケア～ 全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会 代表 川原 秀夫 氏</p> <p>▶これまでの自分自身の実践を振り返る ▶認知症の人に求められている事を考え、自分自身の認知症ケア理念を構築することができる</p>	国分公民館 大会議室
	13:00～ 15:30	<p>熊本地震から学ぶ～活動報告及び今後～ 全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会 代表 川原 秀夫 氏 【派遣活動支援員】 小規模多機能ホーム一休庵きりしま 小川 貴典 小規模多機能ホームたから 國分 ひろみ 氏 (進行) 霧島市地域密着型サービス事業者連合会 黒岩 尚文</p>	
	15:30～ 16:30	<p>霧島市地域包括ケア・ライフサポートワーカー養成研修の趣旨</p> <p>▶研修の目的を理解し、終了した時の自分の姿をイメージできる。 ▶受講生として責任を自覚し、仲間と共に最後まで実りある研修に</p>	
第4回 9/9 【金】	10:00～ 16:30	<p>ライフサポートワーク 全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会 事務局長 山越 孝浩 氏</p> <p>▶本人の暮らしを軒下マップを通して捉え、身体的欠損部分にのみ囚われない「生命」「生活」「人生」という御本人の全体性捉えた支援のあり方や方法を学ぶ。</p>	国分総合福祉 センター 大会議室
第5回 9/24 【土】	10:00～ 13:00	<p>認知症の人とのコミュニケーション「バリデーシヨンの理解と演習」 鹿児島大学臨床心理研究科 教授 稲谷 ふみ枝 氏</p> <p>▶バリデーシヨンの基本的理解 ▶認知症の方の4つのステージについて理解する ▶演習を通じて具体的手法を身につける</p>	国分公民館 大会議室
	14:00～ 16:30	<p>高齢者の病気 隼人脳神経外科 院長 豊満 祐二 氏</p> <p>▶高齢者のかかりやすい病気について学ぶ ▶お医者さんとの報告、連絡、相談</p>	

第 6 回 10/22 【土】	10:00～ 12:00	相談援助技術～初回面接の重要性～ 始良市地域包括支援センター（鹿児島県） 係長 前園 智雄 氏 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ▶相談援助とは？ ・クライアントの心理を考える ▶地域の中で気軽に相談に来てもらえる事業所とは？ </div>	国分公民館 大会議室
	13:00～ 16:30	会議を通じてメンバーのエンパワメントを引き出す 鹿屋長寿園（鹿児島県）施設長 林田 貴久 氏 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ▶それぞれのスタッフがもつエンパワメントを知る ▶介護現場で会議を有効に活用する方法（聞く力・伝える力）を学ぶ </div>	
第 7 回 11/14 【月】	10:00～ 16:30	ひもとき、センター方式、ライフサポート アザレアンさなだ（長野県）総合施設長：宮島 渡 氏 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;"> <p>本人を理解することとは何かを学び、アセスメントの本来の意味を学ぶ。認知症の人のこれまでの暮らしを知り、本人は今をどのように暮らしたいのかを理解する</p> </div>	国分公民館 大会議室
第 8 回 12/2 【金】	10:00～ 12:00	私のアルバムを通して御本人の～したいを実現する 霧島市地域包括支援センター 認知症地域支援推進員 福田 竜光 氏 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ▶霧島市認知症ケアパス「私のアルバム」について知ることができる ▶「私のアルバム」を活かした支援のあり方を学ぶ </div>	国分公民館 大会議室
	13:00～ 16:30	研修のまとめ～研修を振り返りこれから取り組むこと～ 霧島市地域包括ケア・ライフサポートワーカー研修運営委員	

※各回とも 16:30～17:00 まで一日の振り返りがあります（最終回は修了証授与式）。